

## 八戸市立市民病院医誌 投稿規程

### 投 稿

1. 本誌に掲載する論文は、他誌に未発表のものとする。
2. 論文の採否は編集委員会が決定する。また、査読委員（編集委員1名及び編集委員長が任命した院内の専門医師1名）の意見に基づいて、原稿の体裁、内容などについて著者に訂正を求めることがある。
3. 本誌に総説、原著（原則として本文8000字以内、図表15枚以内、引用文献20以内）、症例（400字以内、図表10枚以内、引用文献10以内）などの欄を設ける。
4. 他の文献から文章、図、表などを転載する場合は、あらかじめ著作権者の了解を得ること。
5. 投稿の際は論文及び図表データを記憶メディア（USB,CD）に保存して、編集委員会事務局に提出する。

### 執 筆

[表紙]

表 題

所 属 八戸市立市民病院 ○科

執筆者名

Key words: 日本語（英語）で3つまで、

例：化膿性脊椎炎（pyogenic spondylitis）、  
入院期間（length of hospital stay）、  
体幹装具（spinal orthosis）

脚注：英文のタイトルと所属及びローマ字綴りの筆者名を付記すること。

例：Regression of the pseudotumor following C1 laminoplasty.

Dept. of Orthopaedic Surgery,  
Hachinohe City Hospital

Futoshi Suetsuna, Mitsukuni Mochizuki,

要 旨：和文400字以内且つ英文250語以内

[本文]

1. 口語体、新かなづかい、常用漢字を基準とする。

2. 数字は算用数字を使い、度量衡などの単位は m, cm, mm, ml, g, mg, mmHg, kcal, 36℃, 等として国際的符号を用いること。
3. 論文の最後に、その概要がわかる「まとめ」をつけること。

[図・表]

1. 図・表には必ず図1、表1のように一連の番号をつけること。
2. 図・表には説明を入れること。
3. 写真は出来るだけ、JPG等で記憶メディア（USB,CD）に保存して提出すること。
4. 写真は一般に白黒とする。ただし病理標本やカラードップラーなどはカラー写真として受け付ける。

[文献]

1. 引用文献は本文の当該事項の右肩に<sup>1), 2) 7~9)</sup>のごとく出現順に通し番号を附すこと。
2. 著者名は3名まで記し、4名以上の場合は3名のあとに、他（日本語文献）, et al（外国文献）とする。
3. 頁ははじめの頁 - 終わりの頁, 発行年数は西暦とする。

\*和文雑誌-著者名:論文名. 雑誌名, 巻:頁, 発行年数.

例: 1) 八戸一郎, 八戸二郎, 八戸三郎, 他:  
八戸市における人口動態の推移. 整形外科, 52: 123-126, 2009.

\*欧文雑誌 - 雑誌名は Index Medicus の省略法に準拠し、論文名の文頭のみ大文字、その他は和文雑誌と同じ。

例: 1) Hachinohe I, Hachinohe J, Hachinohe S, et al: A change of the movement of population in Hachinohe city. Spine, 52: 123-126, 2009.

\*単行本-単行本では著者名:書名, 版数, 頁, 発行者名, 発行地名, 発行年. の順に書くこと。特に参考にした頁があるなら p.12-15 のように書く。

例: 1) 八戸一郎: 外傷の診断と治療, 28 版, p12-15, 南江堂, 東京, 2009.

## 編 集

1. 別刷りは 20 部まで無料、それ以上は実費を請求する。所要部数を最終原稿提出時に朱記しておくこと。
2. 論文の校正は編集委員会で行い、校正後著者に一度返却し、訂正後再提出して、最終原稿とする。
3. 掲載料は無料とする。
4. 本誌に掲載された論文等の著作権は八戸市立市民病院（編集委員会）に帰属する。
5. 掲載は総説、原著、症例報告、その他の順とし、編集委員長が最終決定を行う。

## 利益相反 (conflict of interest) の開示

論文の内容について利益相反の有無を明示する。論文の内容に影響を及ぼしうる資金提供、雇用関係などがある場合、特に研究に際して受けた営利企業、各種団体からの支援がある場合は、関係した企業・団体名を明記する。

例：利益相反：なし

利益相反：あり。本研究に関する費用は〇〇〇〇（企業名・団体名）が（一部）負担した。